



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



あれから 20 年、「学校の安全」を確かなものに。

— Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) —

平成 13 年 6 月 8 日、大阪教育大学附属池田小学校へ刃物を持った男が侵入、児童 8 名が犠牲となった事件から 20 年が過ぎました。当時は、この事件をきっかけに学校の安全対策が盛んに言われました。小野市でも各校にガードマンが配置され、学校の門が閉じられ、周辺にフェンスができた学校もありました。また、この事件をきっかけに不審者対応訓練も実施されるようになりました。学校には、さすまたと呼ばれる不審者に対応する為の道具も常備されました。学校でこのような事件が起こるとは、誰も想像をしていなかった、想像できなかったことです。学校は安全なところという絶対的な思いが改めて問われた瞬間でした。

現在も、学校の安全・安心の為に多くの方々がお力を貸してくださっております。朝の登校、帰りの下校、日々、子供達をお守りいただいております。当然、児童の交通安全が大きなねらいであることは確かですが、日々の登下校の中で、子供達が転んで怪我をすればその手当、頭が痛い、お腹が痛い、体調が優れない等のことがあれば、その健康状態をお伝えくださり、本当に細やかなお心遣いをいただいております。また、気分がよくない、前向きな気持ちになれない等、子供達の複雑な心のケアまで、本当に親身になりご支援をいただいておりますこと深く感謝申し上げます。また、子供達と一緒に登校いただいた後、校門で他の町の子供達を笑顔で迎えられ、声をかけ、大きな声で挨拶をしてくださっておられる地域の方々もおられます。菅田駐在所の瀬戸山様におかれましても、毎朝、校門で子供達の安全を見守ってくださっております。改めて皆様に御礼申し上げます。ありがとうございます。私が朝、学校でお出合いするこのような方々のみならず、地域で、子供達の安全を地道に見守ってくださっている多くの方々がこの中番小学校区にお

られることは容易に想像ができます。学校の安全・安心、児童の安全・安心は、決して学校だけではつくることはできず、守ることもできないのです。学校は、このような地域の方々の本当にあたたかいお気持ちと、誠意と真心、その活動により支えられていることを感じます。先日、地域の方が学校にお花を届けてくださいました。ご自身が丹精込めてお世話をされ、お育てになったお花です。私がこの中番小学校にお世話になる以前から、毎年、届けてくださっておられるとのこと。失礼にも、お届けいただいた時にお出合いできない時もありましたが、そのような時もさりげなく玄関の横に置かれていました。本当にありがたいことです。このように、あたたかい地域の方々に囲まれているこの中番小学校の子供達は、本当に幸せだなあとつくづく思います。このような環境は、そう簡単にはできないものだと思います。きっと、以前から、いや、もっと昔から、この中番小学校の地域に、このような心豊かな風土があり、今に続いているのだと思います。このような子供達にとって大変恵まれた環境が、これからも続いていくことを願ってやみません。本当に感謝、感謝です。



ここ何日かとても暑い日が続いています。昨日は、空に積乱雲が湧き立っていました。暑いなあと思っていたら、下校時、給水用の冷水ジャグを教頭先生がセットしてくれていました。これもありがたいことです。冷たいことが御馳走です。水筒に注いでいる子供達の笑顔は喜びに溢れていました。学校では、熱中症対策として、登下校時、体育の時間や外遊び等、必要に応じてマスクを外すこと、但し、マスクを外す場合は、できるだけ人との距離を確保すること、会話を控える等、配慮事項も合わせて指導しております。この季節、熱中症予防を最優先とした対応を考えています。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。